

令和8年4月18日13時20分の長野県北部の地震に おける地震被害の現地調査について（報告）

長野地方気象台は、本日（19日）、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT※）」を派遣し、震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため現地調査を実施しました。

調査結果の概要は以下のとおりです。調査実施地域については別紙のとおりです。

※JMA-MOT=JMA Mobile Observation Team

1. 震度観測点の観測環境の点検結果

令和8年4月18日13時20分の長野県北部の地震により、震度5強を観測した「大町市美麻（おおまちしみあさ）」（気象庁以外の震度観測点）の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められませんでした。

なお、調査実施地域は別紙のとおりです。

2. 地震動による主な被害状況

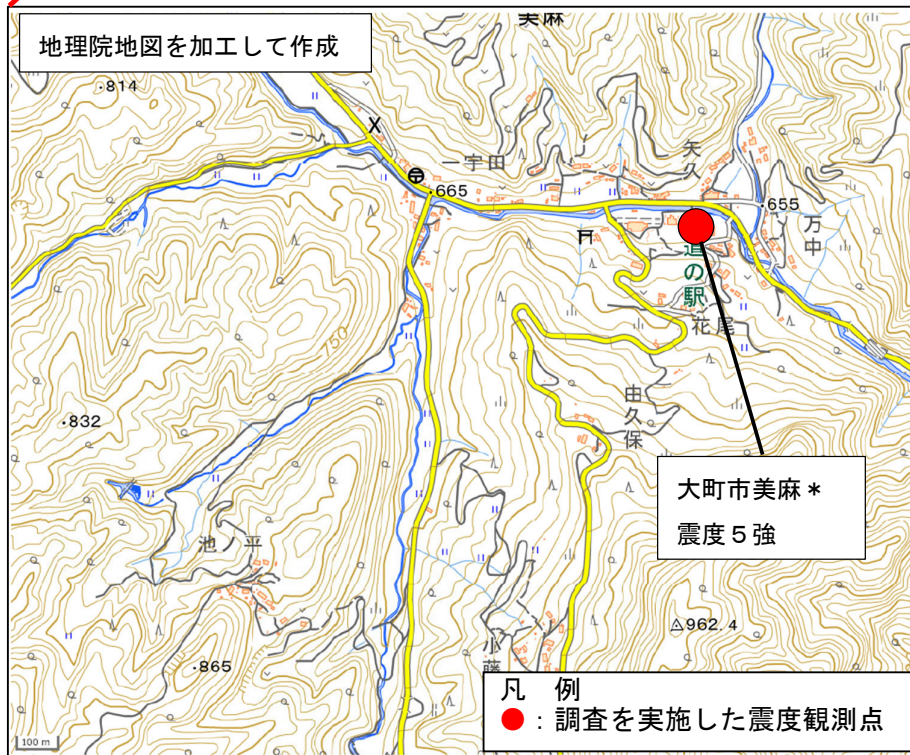
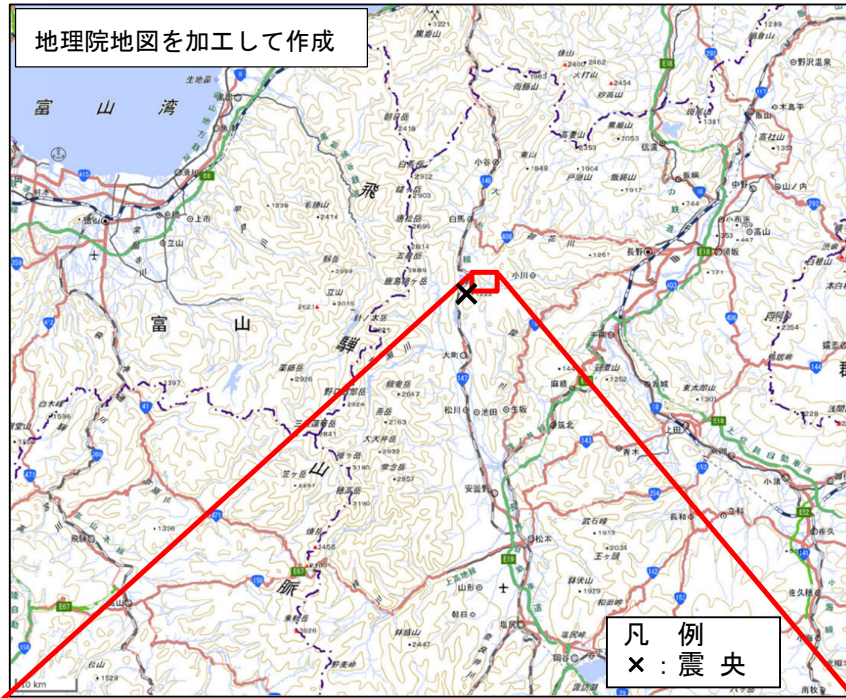
震度観測点からおおむね200m以内の範囲で調査を実施しました。主な被害状況は以下のとおりです。

震度観測点 （観測した震度）	周辺の主な被害状況
大町市美麻* （5強）	・ 陳列棚から日本酒・ワインの瓶が落下して破損 ・ 公共施設の天井パネルの一部が落下 ・ 食器棚から食器類とポットが落下して破損

（*は気象庁以外の震度観測点）

問合せ先：長野地方気象台 担当 窪田・山崎
電話 026-232-3773

調査を実施した震度観測点



*は気象庁以外の震度観測点